

# 枚方淀川定例探鳥会 2023 年 9 月

2023 年(令和 5 年)9 月 3 日(日) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部 担当 前田 初雄、甲田 正二、西脇 淳浩、香月 清宏、松井正夫  
新名泰博、平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール [g-hira@nifty.com](mailto:g-hira@nifty.com))



## 1. 今月の鳥 トビ

今月の鳥は、7月探鳥会で淀川堤防に上がった時、声がよく聞こえ、いつもはアオサギのいる淀川河川事務所電波塔に止まって鳴いていたトビにしました。

枚方淀川探鳥会では、淀川本流や河川敷の上空を飛ぶ姿をよく見ることができるため、トビの観察回数は資料3ページ目の観察リストにあるように、**2012~2022 年の観察回数が 83 回/探鳥会回数 106 回**となっている。トビは昔からカラスと並んで親しまれている鳥で、特に海岸沿いの漁港などでは水揚げされる魚のおこぼれを頂戴しようと、漁船に周りに大群が集まっているのが観察できる。

### ①トビの繁殖(大阪府鳥類目録 2016)より →→

右図の大阪府鳥類目録からは、トビの生息は大阪府全域であるが、繁殖個所があまり確認されていないことがわかる。トビはタカ科の鳥であるが、オオタカ・サシバのように希少なタカでないことから、調査の精度が低いことによると思われる。

### ②トビの繁殖(日本全体の状況) →

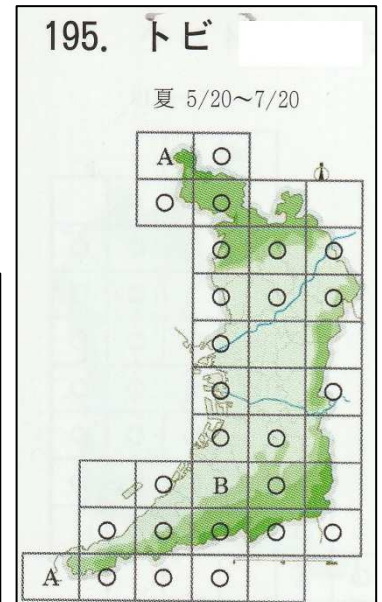
鳥類繁殖分布調査会による全国鳥類繁殖分布調査(2016-2021 年)によると、繁殖メッシュ数は右表(上)のように AB ランクとも 1997-2002 年に比し増加している。

しかし、比較可能な現地調査の記録地数(右表下)は、929 地点から 709 地点へと減少しており、また記録個体数も大きく減少しているとのことである。この要因として、「漁港やゴミ捨て場などでの生ゴミの管理が徹底されるようになって、トビが集中することがなくなったのか、それとも分布の縮小と減少がみられているのか、について、今後の変化に注意が必要である」となっている。

メッシュ数	A	B
1974-1978	129	108
1997-2002	72	73
2016-2021	86	132

調査地数	
1997-2002	929
2016-2021	709



## 2. 淀川河川敷(野鳥通りなど)の樹木伐採に対する要望書(抜粋)

2023 年度に入って淀川河川事務所より、野鳥通りなどの河川敷の樹木伐採計画が発表されました。昨今、各地で発生している水害の状況から、樹木伐採に反対できる状況にないため、数年前牧野ゴルフ場の本流側で実施したレベルの伐木、そしてオオタカ繁殖地については広い面積でそれに対し、**日本野鳥の会大阪支部(枚方淀川)、枚方いきもの調査会、枚方野鳥の会**の三団体連名により、**2023.8.14 付**で要望書を提出しましたので、その内容を抜粋する。

\*\*\*\*\*

①緊急道の淀川本流側は、50mに1本の割でシンボル樹を残すこと。

また、緊急道の反対側(堤防側)は、50mに2本の割でシンボル樹を残すこと。

②伐採工事においては、ブルドーザーなどの車両での踏み荒らしの場所を限定して、現状保全に配慮すること。特に、整地や踏み荒らしによる草本・シダ植物などの破損を避けること。

③湿地、または雨後に水がたまり湿地となる所は、できるだけ現状保存をすること。

④長期的視点として淀川河川敷のあるべき姿である、葎原の再生、草原の再生につながるような配慮を継続すること。

⑤野鳥通りにおいては、2023年に初めてオオタカが営巣し繁殖に成功した。

河川敷内の樹林でオオタカが営巣・子育てをしたのは、大阪府内では初めてのことであり、**営巣木周辺を歩道側から見えないように、広く樹林を残すこと**を検討すること。

上記の実施において、

- (1)シンボル樹とは、ムクノキ、エノキ、クスノキ、ヤナギ類などの河畔林として生息している在来種
- (2)残す樹の選別については、着工前に管理事務所、工事業者、私共の代表者立ち合いで現地を確認し、現場で赤いひもを樹木に着けるなどの表示をする。
- (3)別紙は、淀川河川敷に生息している貴重ないきもののリストを示している。  
これらのいきものは、大阪府レッドリスト2014に記載されている種であり、伐採によって一時的に生息環境を失ったとしても、経年とともに生息環境を取り戻すことを希望している。

## 2-2 どの木を残すか、要望書を出した三団体で下見予定

以上の提案は、基本的には了解された。そこで残す樹木をどれにするかを、要望書を出した三団体の関係者がコースを歩いて決めることにした。

- ・月日;9月14日(木)
  - ・集合場所;天野川の下橋(緊急道の橋)
  - ・集合時間;9:00 ~15:00(弁当持参)
  - ・集まる人;三団体(日本野鳥の会大阪支部・枚方生きもの調査会・枚方野鳥の会)の関係者
- その結果を、淀川河川事務所主催で行われる予定の河川事務所・業者・環境三団体、の立ち合いによる確認を行う予定。

## 2-3 河川事務所による樹木伐採工事の予定

- ・9月中旬までに入札・業者選定・契約をする。
- ・9月中旬以降施工計画(業者作成)、環境委員会の立ち合いを行う。
- ・10月中旬以降工事着手~2月末までに工事
  - ↳オオタカ営巣地については、来年も繁殖する場合、1月~2月の営巣作業を開始するので、それまでに作業を終了する必要があることを、申し入れ中

**樹木伐採により、探鳥コースに林の鳥がいなくなり、探鳥会での観察種が大幅減になります。数年~10年で徐々に回復すると思われまますので、ご理解の上ご協力お願いします。**

**3. 先々月7月探鳥会** スタート後淀川堤防に上がった時トビの声、淀川河川事務所電波塔に鳴きながら止まっていた。河川敷に入って、河川公園の芝生広場はムクドリ群、セイタカヨシなどの草の中からウグイス・オオヨシキリなどの声が響いていたが、オオヨシキリが柳の木の手元に止まって、大きな赤い口を開け「ギョギョシ・ギョギョシ」を聞かせてくれた。淀川本流はここ数日の雨で増水しており、水辺の鳥の姿がほとんどない。天野川合流点の「魚道」今回はダイサギ・コサギ・アオサギが、上流へ上がる魚を待っていた。「野鳥通り」では木の葉の陰の木の手元に、親が運んでくる餌を待つヒヨドリを観察でき、また**オオタカの親とヒナ**と思われる声も、遠くから聞こえた。中締めの実験池にはアオサギがいたのみで、総じて鳥が少なく、先月に続いて観察種は30種にとどまった。

## 4. 10月は秋の渡り最盛期、次回は10月1日(日)9:00~12:00

午前9時ラポールひらかた集合  
今月同様大阪支部ホームズよりお申込みください

## 4. 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	12.1~ 22.12 観察回	2023								
			1/8	2/5	3/5	4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3
5	キジ	43				3		2	1		
21	ツクシガモ	1									
26	オカヨシガモ	44	○	33	42		雨			夏	
27	ヨシガモ	13			2	10	天			休	
28	ヒドリガモ	42	○	2			中			み	
29	アメリカヒドリ	5					止				
30	マガモ	54	○			1					
32	カルガモ	86	○			12		6			
34	ハシビロガモ	7		4	4						
35	オナガガモ	8									
36	シマアジ	1									
37	トモエガモ	1									
38	コガモ	56	○	6	10	10					
42	ホシハジロ	36	○	31	34	3					
43	アカハジロ	4									
46	キンクロハジロ	39	○	42	76						
47	スズガモ	6									
59	カワアイサ	44	○	16	8						
60	ウミアイサ	3									
62	カイツブリ	41		4	1	1					
64	カムリカイツブリ	53	○	2	9	2					
66	ハジロカイツブリ	3									
74	キジバト	103	○	4	4	4		2	1		
83	シロエリオオハム	1									
127	カワウ	102	○	8	9	7		6			
139	ゴイサギ	9						1	5		
141	ササゴイ	15									
143	アマサギ	2									
144	アオサギ	104	○	3	15	2		1	1		
146	ダイサギ	100		1	5	5		6	2		
148	コサギ	91	○	2	2	5		1	1		
153	ヘラサギ	1									
166	クイナ	11		1							
170	ヒクイナ	6			1						
174	バン	21		1	1						
175	オオバン	43	○	76	86	53					

日本 鳥類 目録	鳥名	12.1~ 22.12 観察回	2023								
			1/8	2/5	3/5	4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3
185	ホトギス	2									
187	ツツドリ	2									
188	カッコウ	1					雨			夏	
192	アマツバメ	2					天			休	
194	タゲリ	1					中			み	
195	ケリ	27					止				
202	イカルチドリ	9									
203	コチドリ	29				1					
204	シロチドリ	4									
219	タシギ	4									
227	チュウシャクシギ	2									
235	アオアシシギ	1									
239	クサシギ	3									
241	キアシシギ	1									
244	イソシギ	74	○	2	3	1					
251	トウネン	1									
266	ハマシギ	1									
286	ユリカモメ	21									
293	ウミネコ	3									
294	カモメ	2									
299	セグロカモメ	19									
307	コアジサシ	9									
339	ミサゴ	61	○	1							
340	ハチクマ	2									
342	トビ	83		1	4	3		1	3		
349	チュウヒ	1									
355	ハイタカ	29		1	1	2					
356	オオタカ	20		1	1	1		1	2		
357	サシバ	1									
358	ノスリ	32	○		1						
366	オオコノハズク	1									
383	カワセミ	88	○	2	1	2		2	1		
388	アリスイ	9									
390	コゲラ	85	○	1	7	2		5	3		
393	アカゲラ	6									
401	チョウゲンボウ	48		2		1			3		

日本 鳥類 目録	鳥名	12.1~ 22.12 観察回	2023									
			1/8	2/5	3/5	4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	
407	ハヤブサ	26										
407	サンショウクイ	1										
418	サンコウチョウ	1					雨				夏	
420	モズ	94	○	5	6	2	天	1	4	休		
435	ハシボソガラス	105	○	5	23	14	中	13	8	み		
436	ハシブトガラス	102	○	6	5	4	止	3	4			
438	キクイタダキ	8										
439	ツリスガラ	1										
442	ヤマガラ	7										
443	ヒガラ	1										
445	シジュウカラ	97	○	8	6	14		4	8			
452	ヒバリ	60				1			1			
455	ショウドウツバメ	6										
457	ツバメ	53				2		41	30			
459	コシアカツバメ	18										
461	イワツバメ	41		15	40			70	2			
463	ヒヨドリ	106	○	484	840	234		35	33			
464	ウグイス	100	○	11	18	18		10	15			
466	エナガ	80	○	9	6	6		3				
476	オオムシクイ	5										
477	メボソムシクイ	5										
479	エゾクシクイ	1										
480	センダイムシクイ	7										
483	メジロ	83	○	23	15	2		8	7			
492	オオヨシキリ	28						6	6			
499	セッカ	27						3	4			
506	ムクドリ	93	○	53	40	9		93	60			
508	コムクドリ	5										
511	ホシムクドリ	2										
520	マミチャジナイ	1										
521	シロハラ	47	○	9	7	1						
522	アカハラ	2										
525	ツグミ	51	○	5	93	72						
533	ノゴマ	1										
536	ルリビタキ	1										
540	ジョウビタキ	51	○	4	4							

日本 鳥類 目録	鳥名	12.1~ 22.12 観察回	2023										
			1/8	2/5	3/5	4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3		
542	ノビタキ	13											
549	イソヒヨドリ	33											
552	エゾビタキ	8						雨			夏		
553	サメビタキ	1						天			休		
554	コサメビタキ	16						中			み		
558	キビタキ	16						止					
560	オジロビタキ	1											
561	オオルリ	4											
569	スズメ	105	○	72	30	11		42	28				
573	キセキレイ	31		1		1							
574	ハクセキレイ	96	○	8	2	5		4	1				
575	セグロセキレイ	94	○	2	3	2			2				
584	タヒバリ	25	○	1	40	1							
586	アトリ	28			20								
587	カワラヒワ	97	○	15	12	11		6	3				
588	マヒワ	6											
592	ベニマシコ	42	○	7									
600	シメ	41	○										
602	イカル	15	○	33	5								
610	ホオジロ	100	○	7	11	14		10	8				
614	ホオアカ	5			2								
617	カシラダカ	22		1									
618	ミヤマホオジロ	1											
624	アオジ	60	○	7	8	3							
628	オオジュリン	16		2									
	コジュケイ	13											
	カワラバト(ドバト)	102	○	55	30	○		22	1				
	カッコウSP	5											
	アイガモ	3											
	メボソムシクイSP	2											
	ヒタキSP	2											
種数合計(自動計算)				42	51	48	45	30	30				
個体数合計(自動計算)				1095	1593	559	408	248					
探鳥会参加者数				17	23	28	16	28	16				